

新生児集中ケア認定看護師



新生児集中ケア認定看護師とは

小さく生まれた赤ちゃんや重篤な状態の赤ちゃんとその家族のQOL向上に向けて、水準の高い看護実践をチームとして提供できるようにすることが役割です。

そのために、以下の実践をします。

- 赤ちゃんの急激な状態変化を予測し、重症化を予防するとともに、状態の安定化を図ります。
- 順調な成長発達を促すために、一人ひとりの赤ちゃんの成長発達に合わせたケアを考え実践します。
- 心理的な危機状態にある家族が、我が子との関係を築けるように支援します。
- 家族と赤ちゃんの権利を擁護し、家族の自己決定を大事にしたケアを提供します。
- 質の高い医療を提供するため、他職種と協働し、看護チームのなかでは役割モデルとなり、指導や相談を行います。



活動内容

新生児集中ケア認定看護師は3人おり、看護師長・副看護師長としての役割もあります。外科疾患・心疾患など重症な赤ちゃんの入院が多い大学病院NICUで新人看護師が効果的に学習できるように、教育プログラムを作成し指導・教育を行います。

現在、医師と協働しながら、赤ちゃんの痛みケアの改善に取り組んでいます。

3人とも新生児蘇生法(NCPR)のインストラクター資格を有しており、定期的に当院及び関連施設の看護職を対象にNCPR講習会を開催しています。



活動アピール

低出生体重児の看護、NICUにおけるファミリーケア、母乳育児支援、ディベロプメンタルケア、新生児蘇生法など、日々のケアで困っていることがあれば、ご相談ください。

他施設への出張研修も可能です。病院HP派遣講座よりお申し込み下さい。また、当院での研修も受け入れています。

赤ちゃんとその家族にとって、最善な看護が実践できるよう、私達と一緒に考えてみませんか。

